

国立大学法人宇都宮大学

宇都宮大学

（審査・評価委員の所見）

- ・標準化の教育プログラムがどの程度先進的なものになっていくのか。ここに記載されているだけでは心許ない。研究開発のテーマと人材育成が最初からマッチングしているような進捗が期待される。
- ・標準化教育について、具体的にどのようなプログラムを展開するのかもしれない少し踏み込んだ概要を今後示していただきたい。ファンドレイジングおよびスタートアップ創出については様々な拠点事業で取り組んでいるので、NEDO,AMED 等の外部 SU グラントの関係性も含め早期に整備いただきたい。
- ・国際光工学ネットワークの活動を通じ、海外研究機関との研究者の相互交流が進められており、国際的研究ネットワークの構築が期待される。
- ・世界的にも高い水準にある空中ディスプレイ及び空間光制御技術の国際標準化を視野に入れた教育を実践し、ワークショップ等を通じて社会実装に向けた取組が進められている。
- ・具体的な産学官連携による共同研究に関する記載は限定的であることから、今後、企業や関係機関との連携体制を早期に構築し、事業化に向けた取組を強化することが望まれる。
- ・設備設計の見直しによる遅れと人材採用の難航が気付きである。設備導入を急ぐとともに、専門性の高い人材採用の難しさは今後も続く予想されるため、若手人材の採用や柔軟な雇用形態の工夫により、早期に進めていただきたい。
- ・当初、光工学に関する国際計測標準を軸とした社会実装・イノベーション推進の提案がなされたと理解している。その実現に向け、ご提案の内容を早期に進めていただきたい。
- ・「AI・デジタル技術を活用した研究環境整備と研究、支援体制の強化」の取り組みの具体例と成果の実態を今後確認していきたい。又、AI friendly な人材育成にどの様に取り組んでいるのか、についても今後確認していきたい。
- ・事業が開始したばかりであり、執行については、今後確認していきたい。

国立大学法人香川大学

香川大学

（審査・評価委員の所見）

- ・農業分野でも医療分野でも学外の共同機関が実質的に拡大していると感じられる。もう少しプロジェクトの進化を見守りたい。
- ・貴学の強みである希少糖を中心に産業化していく構想も具体的にロードマップを引き進めている点は評価できる。新たな地域産業創成および地域課題解決に資する取り組みとして評価する。
- ・取組テーマである「社会実装・イノベーションの推進」に向け、他の研究機関と連携した臨床試験や各種試験が実施されているほか、分野ごとに企業等と連携した具体的なプロジェクトが進行しており、早期の上市を見据えた取組が進められている。
- ・必要に応じて本事業以外の支援制度を活用するなど、事業化に向けた柔軟な取組が行われており、今後の社会実装の加速が期待される。
- ・希少糖を中心とした産学連携拡大を計画通り進めている。
- ・申請調書にステップ達成に関する指標が提案されているが、研究論文など学術面での目標も立てていただきたい。
- ・多様な分野で希少糖の活用展開が図られており、また、さまざまなステージ段階のテーマが存在すると理解している。これらすべてのテーマが順調に進むわけではなく、GO/STOP や見直しが必要なテーマもあると考えられるため、今後テーマごとの成果が把握できるようにしていただきたい。
- ・希少糖研究の範囲は広く利用シーンも多岐。人材育成とプロジェクト全体のガバナンス体制強化に意を用いて欲しい。
- ・医療への応用は時間と経費がかかると思われるが、ぜひとも継続して推進していただきたい。

国立大学法人東海国立大学機構

岐阜大学

（審査・評価委員の所見）

- ・この事業での支援は主として大学経営の環境整備に資金が投じられるようだが、そのアウトカムをどのように報告してもらえるのか？令和8年度にはその報告が必要となろう。
- ・エンダウメント型の大学経営の本格的な仕組みの構築については、企業版ふるさと納税や地方公共団体との連携により更なる具体化を進めていただきたい。また現状の計画はまだ一般的なものであり、より広域リージョンで捉えた航空機産業等、産業クラスターの中での貴学の役割についてエッジを立てていただきたい。
- ・研究環境整備のために導入する機器類について、共用設備としての利用人数の伸びが現時点では限定的であることから、今後は積極的な広報活動や産学官共同研究コンソーシアムの組成等を通じた機器利用の一層の促進が望まれる。
- ・社会実装研究コアに配置されたU R A等の活動を通じ、新たなコンソーシアムが早期に始動し、研究成果の社会実装が加速されることを期待する。
- ・航空宇宙産業を中心に社会実装を進めるための取り組みを提案通りに進め、既に多くの企業と社会実装を図るコンソーシアムが立ち上がっていると理解した。今後は、社会実装までのロードマップが明確になるようにしていただきたい。
- ・申請調書に KPI やマイルストーンがまとめられているが、研究論文など学術面での目標も設定していただきたい。
- ・外国人研究者の招聘活用の際しての研究セキュリティ・インテグリティについての取組方針などについて今後も確認していきたい。
- ・事業が開始したばかりであるが、順調に計画が進められていると思われる。

国立大学法人富山大学

富山大学

（審査・評価委員の所見）

- ・URA の雇用がどのような形でプロジェクトの達成へ寄与することになったのか、今後説明していただきたい。
- ・和漢研を中心とした創薬エコシステムの強化を進めていく点は、政府の創薬スタートアップエコシステムの構築の流れもあり期待できる、今後の社会実装を含め、AMED の v-Eco 事業との連携も含め、グローバルな創薬 VC との連携も含め体制を強化いただきたい。
- ・伝統医薬に関するエビデンスの確立により、伝統医薬の利活用が進展し、地域に集積する創薬産業の活性化につながることを期待される。
- ・海外機関との連携によるエビデンス実証は、伝統医薬の国際的研究・活用の促進に寄与し、グローバル展開の可能性を有している。
- ・附属病院や県内医療機関における伝統医薬品等の活用促進は、地域住民の医療選択肢の拡充につながることも、伝統医薬品の普及にも寄与することが期待される。
- ・伝統医薬分野を軸に地域産業振興、地方創生を図っている。
- ・熊本大学の参画により、アフリカの天然物および海洋資源の活用が進み、国際的な植物資源を活用した創薬研究や食品開発が期待できることが分かった。両大学の強みを活かし、広く地域振興が進むことを期待する。
- ・伝統医薬が世界のヘルスケア分野で優位な地位を占める為の具体的な戦略を描いて欲しい。（研究力強化だけでなく、研究の社会実装化への取組を強化して欲しい）
- ・富山の強みを活かした事業であり、地域包括型ネットワークの構築に期待したい。

国立大学法人福井大学

福井大学

（審査・評価委員の所見）

- ・小型衛星製造産業との関係やサステイナブル繊維産業との関係がこのプロジェクトを通して拡大していく可能性を感じる。今後、福井発のイノベーション事業の具体化が求められる。
- ・地域の伝統的な繊維産業から今後小型衛星製造産業拠点として発展させ、北陸の小型宇宙産業クラスター形成に当大学が貢献することには、政府の国家安全保障領域、戦略分野として非常に大きな期待をしている、特に、地元中小企業を含めた産業サプライチェーン、企業集積も含めた取り組みについて、産業界の巻き込みについては県や政府と連携し、更なる推進を期待する。
- ・モデルプロジェクトの実施を通じて、地域の幅広い産業群との連携体制が構築されており、ニッチトップ技術を活用したイノベーション創出が期待できる。
- ・大学発JVによる事業化を目指す取組は意欲的だが、JVの安定的な運営には、経営に精通した人材の確保が不可欠であり、その体制整備が今後のキーポイントになると考えられる。
- ・宇宙を軸とした新産業の振興および地域創生に向けて、当初計画通りに進めている。
- ・共同研究にとどまらず、論文に関わるKPIまで設定している点は評価できる。
- ・装置構成および仕様の見直しに時間がかかっている様子である。次年度において速やかに調達手続きを進め、装置を導入するようお願いしたい。
- ・「地域一体型産学官連携」成功の為の重要要素は何か？について他の地域にも通用するimplicationを発信して欲しい。
- ・事業が開始したばかりであり、執行については、今後確認していきたい。